



“防災研究会の活動レポートと分科会プログラム案について”

(社)日本技術士会北海道支部／北海道技術士センター

防災研究会 副幹事長 技術士（建設部門） 城戸 寛

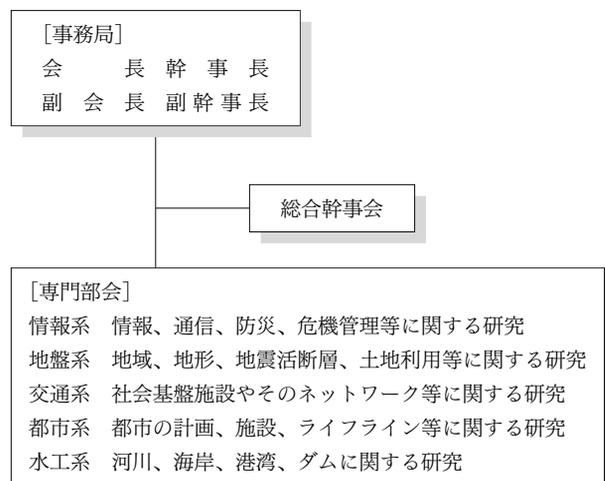
1. はじめに

防災研究会は、平成7年の阪神・淡路大震災を契機として全国支部に先駆けて、(社)日本技術士会北海道支部／北海道技術士センターに発足しました。研究会の目的は防災に関する諸問題を研究し、北海道の災害を最小限に食い止める防災体制のあり方、更には防災型国土のあり方等を提言することです。平成9年には「技術士からの提言：地震災害に備えて」を発表しています。この研究成果は、道内はもとより全国的にも大きな反響があり、高い評価を得ることが出来ました。



第1期研究会報告書

平成13年からは、新たに「都市型防災」をテーマに、現在90名を超える会員が参加し、研究活動を継続しています。研究会の組織及び研究テーマは以下のとおりです。



2. 平成15年度活動報告

平成15年度は、各専門部会において、都市型防災を中心にした研究成果の取りまとめに向けた調査や勉強会などを積極的に展開しました。

また、各部会による研究以外に、CPD(継続教育)対応の講演やセミナーを以下のとおり4回実施し、研究会以外の方にも多数参加をいただくなど、好評をいただきました。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 第1回 (H 15. 5.29) 「地下鉄施設の防災対策」 | ：札幌市交通局 北川氏 |
| 第2回 (H 15. 8.26) 「社会貢献する陸上自衛隊」 | ：陸上自衛隊北部方面本部 田口氏・後藤氏 |
| 第3回 (H 15.12. 8) 「2003年十勝沖地震災害」 | ：北海道開発土木研究所 池田氏・西本氏 |
| 第4回 (H 16. 3. 4) 「防災とまち(ひと)づくり」 | ：地球シミュレーターセンター 平野氏
ニセコ町長 逢坂氏 |

第1回講演は、韓国大邱市で発生した地下鉄火災を題材に、地下鉄施設の防災対策の現状について、第2回の北部方面本部の活動報告では、自然災害などにおける自衛隊による社会貢献の現状について、第3回の十勝沖地震の報告では、昨年9月に発生した地震災害についてなど、それぞれに今後の防災対策のあり方について、貴重な情報を得ることが出来ました。

第4回講演は、技術交流研究会との合同セミナーとして開催、世界最速のスーパーコンピューターによる最先端のシミュレーション技術と全国の自治体から注目を集めているニセコ町における行政マネジメントの一端が紹介されました。

なお、第4回講演の様子はホームページ (http://www.ipej-hokkaido.jp/e-learning/el_main.htm) で視聴することができますので、是非ご覧ください。

3. 平成16年度の活動予定

平成16年度は、13年度から継続してきた都市型防災に関する調査研究の最終まとめを行います。

その成果については、都市防災の現状や課題とともに、今後の防災対策のあり方を提案する内容で、報告書を作成する予定です。そのうえで平成17年度には、広く市民にも分かり易い形で、「技術士からの提言 Part II」を発刊できればと考えています。

「技術士からの提言 Part II」構成案
 第1章 いま、都市が危ない
 第2章 都市型防災とは
 第3章 これからの都市防災
 第4章 技術士からの提言
 「都市型防災のためのリスクマネジメント」

このため、各部会における調査研究活動を精力的に進めるとともに、今年度も防災セミナーなど講演会を3回程度開催する予定です。

そして、今年度の研究会の主要事業は、第31回全国大会（平成16年9月15日、ロイトン札幌）における第4分科会の開催運営です。

4. 第4分科会の開催概要

防災研究会が担当する第4分科会では、基本テーマであります「社会貢献—技術士は何ができるか、何をすべきか—」の観点から、今後の都市防災の方向性について、現在、第一線で活動されている専門家や技術者によるパネルディスカッションを開催します。

ディスカッションのテーマは、これからの防災戦略についてで、過去の災害事例の検証や現状における防災対策の課題整理などを行い、その上で、近年の各都市の取組み状況等を把握しつつ、技術士の役割をあらためて再認識したいと考えています。

基調講演には自然災害研究の第一人者であり現

在、京都大学防災研究所教授で巨大災害研究センター長の河田氏をお招きします。また、NPO法人「東京いのちのポータルサイト」の副理事長をされている山口氏、昨年末に神戸市にてNPO法人「都市災害に備える技術者の会」を結成された山田氏、そして、本道を代表する地震防災の専門家、北海道大学助教授の岡田先生に参加をいただきます。

▼テーマ

「都市防災 —明日の防災戦略を考える—」

▼プログラム

- 9:30～ 挨拶 防災研究会会長：高宮 則夫氏
- 9:40～ 基調講演「都市防災を考える（仮題）」
京都大学防災研究所教授：河田 恵昭氏
- 10:40～ パネルディスカッション
京都大学防災研究所教授：河田 恵昭氏
北海道大学大学院助教授：岡田 成幸氏
本部防災特別委員会副委員長：山口 豊氏
近畿支部建設部会長：山田 俊満氏
座長：高宮 則夫氏
- 12:00～ 意見交換 (司会進行：城戸 寛)

5. おわりに

研究会は発足して、今年で10年目。

この間、官民の科学技術者が主に行政に向けて、NPO的活動を展開してきました。今後は、これまでに以上に広く社会に対する貢献が求められており、「技術士からの提言 Part II」の発刊はもとより、防災対策の市民化に向けた取組みを積極的に進めていきたいと考えています。

私も当時から研究会に所属し、冒頭に紹介した「技術士からの提言：地震災害に備えて」の中の「防災を前提とした札幌都市圏の総合交通ネットワークのあり方」の執筆を担当し、現在は、事務局にて会の運営をサポートしています。今後も微力ながら、研究会活動に貢献して参りたいと考えています。

会員の皆様の中で、防災研究会の活動に興味を持たれた方、是非、ご連絡ください。お待ちしております。